



これからの地縁関係は? 町会と新しい住民のつながりを広げるには?

神田公園地区連合町会のみなさんとの探求 < Report from 神田公園地区連合町会 地域課題解決支援 >

神田公園地区とは?

- ◎江戸時代には西半分が大名屋敷、武家屋敷、東半分は高密な町屋でした。関東大震災でほとんど焼失した後、復興区画整理事業において、靖国通りなどの幹線道路が整備され、現在の地域の骨格ができました。
- ◎住商混在の下町型の町として活がありましたが、地下鉄整備後、交通の便の良さから業務地化が進み、オフィスビルが拡大する一方で、人口は減少しました。
- ◎近年、マンションも増えてきていますが、まだ地域によつてバラツキがあります。
- ◎神田公園地区連合町会は20町会から構成されています。町長ら役員は神田で生まれ育った人、長く住む人がほとんどです。



神田公園地区

Q 町会のつながりの現状は?

町会長からみて

神田は住職近接のライフスタイルを基に発展してきたが、今、増えているのは住まいと仕事は別の人。その人たちが地域に関わる意味は古くからの人にとっての意味とは違うだろう

「マンションができたから、そこに住む人に町会に入つてもらおう」という気運は未だ全員は持てていない

古くから住む人と新しく住み始めた人でコミュニケーションの感覚や取り方が違う。お互いに相手の感覚を知っていないと、悪気がないのにすれ違ってしまう

祭りや餅つきなどの行事を町会の人は大切にしたいと思っている。それをわかつてもらえるだろうか?

祭りやイベントに参加している人はいるが、町会活動への参加につながっていない

町会によって状況も違う、課題認識も違う

マンション住民に無理して合わせることもないという声もある

住所と町会がズレているので、新しい住民にはわかりにくいのでは?

マンション住民は数年後もいるかわからない人も多い。新しい住民には、地域に関わりたくない、避けている人たちもいる。そのような人たちと、どう関係をつければいいのか?

町会は、どう新住民と関われるか悩んでいるが、新住民の方は地域のこと考えてるのか?

WEBサイト「大好き神田」を立ち上げ、大切に運営してきた。情報を掲載しているが、新住民に十分に届いてはいない

新しい住民からみて

神田の町が気に入って住み始めたが、「じゃあ町会に入ろう」とは思わなかった

町会を意識していないと、イベント案内があつてもスルーしている

町会が何をしているのか、どんな人がいて、活動の楽しさは何か、イメージが持てない

実態は知らないが、負担が大きそう、お金とられそう、付き合いが面倒そうというイメージがある

町会を知ろうとネットを検索したが、町会のサイトにたどり着けなかった

町会への入り方がわからない。いつ、どこにコンタクトすればいいか、外部から見えない

地域のベテランの方たちは関係もできていて、仲良さそう。私たちが入れる余地はあるのか?

コミュニケーション会議 事前会議、第1回より

新住民インタビュー、町会Q&Aの声より

Q どうつながれるのだろう?

町
会長

町に住む人や働く人が足並みを揃えて、よいまちづくりをするために、会員相互の親睦と交流のための祭りや美化イベントなどの行事、自主的な防犯・防災活動、消防・警察との連携による備え、町の環境美化などをしているよ

活動を通して町のことを知れたり、町の人と仲良くなれることかな?

ただ、メリットばかりを求めて、町会に入ってもらいたくはないな。
町会活動には、防犯、防災などの責任も、伝統を受け継ぐ意味もあるので、
“自分のメリット”だけじゃないと思う

町民文化の基本は自治にあるからね

いきなりだとね。まずイベントに参加したり、似た世代の住民で知り合って、神田のことを好きになってもらえたと思う

転校生がいきなり学級委員長になるのも難しいだろう
お互いに気にはなっているので、知り合っていくことが大切だね

町会は色々なイベントをしているから、参加してみたらいいよ。参加してみると意外に楽しいと新しい人も言っているよ

神田の祭りは当日は人が多いので、準備や片付けに来てくれると、話もしやすいし、町会の人にとっても助かるよ

これまで町会員、特に知り合っている人同士ばかりのイベントだったから、新しい人への対応に慣れていないし、そういう困り事に気づいていないかも

そのため、WEBサイト「大好き神田」にはイベント案内やレポート、町会長インタビューなどを掲載しているよ

新
住民

町会は何をしているのですか?

町会に入るメリットって何ですか?

なるほど。でも、それって新しい人には少し重く感じるかも

知り合うには、どうしたらいいですか?

イベント行ったけど、受付がなかつたので帰ったという話もありますが

新しい住民からは「見えない」「きちんと運営しているの?」という声もありますが

神田公園地区連合町会では、連合町会役員の方達が月1回のペースで、コミュニティを考えるミーティングを行ってきました。



ただ、話すだけでなく、事務局で資料をまとめたり、新住民の方へのインタビュー、町会Q&Aなど新しい人の声を伝えていくことで、議論の視野を広げていきました。

